

第6回日本語教育研究集会

日時 2008年8月4日(月)

場所 名古屋大学大学院国際言語文化研究科棟2階演習室B(控え室:演習室A)

プログラム

受付開始:9:30~

- 研究発表:10:00~10:30 テーウィット・サウェットアイヤラム(名古屋大学大学院生)
日本語とタイ語の受身文の対照研究
- 10:30~11:00 古川智樹(名古屋大学大学院生)
日中母語場面と接触場面におけるあいづちのタイミングとその差異
- 11:00~11:30 家田章子(桜美林大学)
自律的な学習を目指す日本語授業の取り組み
- 11:30~12:00 鈴木智美(東京外国語大学)
事態に対する話者の期待と感情・評価的意味
-理想化認知モデルの観点からの考察-
(司会 許 夏玲:東京学芸大学)

(昼休み)

- 13:00~13:30 名嶋義直(東北大学)
母語話者による母語話者ロールプレイング発話の評価からわかること
-「意味」と「流れ」に関する肯定的コメントを中心に-
- 13:30~14:00 李 澤熊(名古屋大学)
動詞「重なる」の多義構造 -類義語の違いに着目して-
- 14:00~14:30 木下りか(大手前大学)
因果関係と接続形式 -タメことカラ-
- 14:30~15:00 蓮池いずみ(愛知学院大学非常勤講師)
空間を示す格助詞の正誤判断に見られる母語差
-韓国語・中国語・英語母語話者の比較-
(司会 鈴木智美:東京外国語大学)

(休憩)

- 15:15~15:45 許 夏玲(東京学芸大学)
話し言葉における接続詞「だって」の使用実態
- 15:45~16:15 池田佳子(名古屋大学)
「傾き」のある疑問文 -会話データからの考察-
- 16:15~16:45 杉村 泰(名古屋大学)
複合動詞「-残す」について
- 16:45~17:15 謝 文儀(名古屋大学大学院生)
授受文、受身文、移動文における視点の習得
-談話構築を通して-
(司会 名嶋義直:東北大学)